

# レファレンス事例集

## 一般編

注：長浜市内の図書館での調査結果をもとに編集しています。「参考資料」として掲載した資料はすべて図書館に所蔵しています。事後調査により加筆修正する可能性があります。ご了承ください。

数多くの事例の中から生活に役立つようなものを中心に紹介します。

Q1 漢字で表記された国名について

Q2 花梨（カリン）の実の加工や利用方法について

Q3 稲ワラを使用したしめ縄や縁起物について

Q4 牛乳パックで作るイスについて

NEW Q5 唱歌『のばら』について 2022/8掲載

NEW Q6 アルファベットの筆記体の書き方について 2022/8掲載

NEW Q7 閻魔（えんま）大王の像・絵画などについて 2022/8掲載

NEW Q8 衛生的な正しい手洗いの方法について 2022/8掲載

NEW Q9 「おおきなかぶ」の劇を上演する際の脚本や演出について 2022/8掲載

NEW Q10 かかしの作り方について 2022/8掲載

NEW Q11 鳥のフンはなぜ白いのかについて 2022/8掲載

登録番号	Q1	調査年月	2020年12月
質問	漢字で表記された国名について		
	<p>アメリカ＝米国、亜米利加 イギリス＝英国、英吉利など国名が一覧になっているものを収集しました。</p> <p>①『常識の漢字』の「主な国名・都市名を漢字で書けば」p.183-p.186には、40か国以上掲載されています。</p> <p>②『漢字の缶づめ 教養編』の「外国国名を表す漢字」p.76-p.78には、漢字で表した場合（亜米利加等）と一文字で表した場合（米等）、またクイズも掲載されています。</p> <p>③『あて字用例辞典』の「外国名-地名」p.467-p.470には、地名と国名併せて、多数掲載されています。</p> <p>④『三省堂ポケット難読語辞典』p.280-p.282に78か国掲載されています。</p> <p>⑤『ちょっと自慢したくなる！難読漢字の豆知識』p.156-p.159には地図と共に80か国掲載されています。p.160-p.163には世界の地名が多数掲載されています。</p> <p>⑥『辞書にない「あて字」の辞典』「和訳便覧地理篇①アジア・アフリカp.42 ②南・北アメリカp.60 ③ヨーロッパp.76」には、地域ごとに国名と地名が多数掲載されています。</p> <p>⑦『読んで楽しむ当て字・難読語の辞典』p.223-p.226「外国の地名」には48か国掲載されています。</p> <p>漢和辞典の巻末資料や児童の漢字辞典にも掲載がありました。</p> <p>⑧『大きな活字の三省堂漢和辞典』の「世界古今主要地名・国名漢字表現表」に、地名と併せて多数掲載されています。</p> <p>⑨『例解学習漢字辞典 第9版』p.1220「当て字のいろいろ」1.「なぜアメリカを「米」と書くのか」に9か国掲載されています。</p> <p>⑩『ドラえもん はじめての漢字辞典』p.249「当て字のいろいろ」に説明と共に6か国掲載されています。</p>		
	参考資料：市内図書館で所蔵しています		
	■①『常識の漢字』現代漢字セミナー／編 富士書店 「主な国名、都市名を漢字で書けば」		
	■②『漢字の缶づめ 教養編』斎賀秀夫／著 旺文社「外国国名を表す漢字」		
	■③『あて字用例辞典』杉本つとむ／編 雄山閣出版「外国名-地名」		
	■④『三省堂ポケット難読語辞典』三省堂編修所／編 三省堂		
	■⑤『ちょっと自慢したくなる！難読漢字の豆知識』造事務所／編著 メディアパル		
	■⑥『辞書にない「あて字」の辞典』現代言語セミナー／編 講談社 「和訳便覧地理篇①アジア・アフリカ②南・北アメリカ③ヨーロッパ」		
	■⑦『読んで楽しむ当て字・難読語の辞典』東京堂出版編集部／編 東京堂出版「外国の地名」		
	■⑧『大きな活字の三省堂漢和辞典 第4版』長沢規矩也／編著 「世界古今 主要地名・国名漢字表現表」三省堂		
	■⑨『例解学習漢字辞典 第9版』藤堂明保／編 小学館「当て字のいろいろ」		
	■⑩『ドラえもんはじめての漢字辞典』小学館国語辞典編集部／編 小学館「当て字のいろいろ」		

登録番号	Q2	調査年月	2018年11月
質問	花梨（カリン）の実の加工や利用方法について		
	『図説 花と木の大事典』p.123によると「ほとんど木化した果肉は固いうえに酸味が強いので生食には向かない。砂糖漬けや果実酒にしたり、砂糖と煮詰めた汁を固め『かせいた』という菓子をつくる。また室内に置いたり輪切りにして浴槽に入れ芳香を楽しむ」とあります。その他関連本を収集しました。		
	参考資料：市内図書館で所蔵しています		
	■『図説 花と木の大事典』 柏書房		
	■『果実酒・花酒・薬用種手作り大百科』 藤巻あつこ／[著] グラフ社		
	■『おばあちゃんのお茶うけ 信州の漬物・おやつ・郷土料理240品』 吉田文子／文・写真 川辺書林		
	■『おばあちゃんのお茶うけ Part2 信州の漬物・おやつ・郷土料理290品』 吉田文子／文・写真 川辺書林		
	■『手づくりのお酒を楽しむ本』 地球丸		
	■『季節をたべる秋の保存食・行事食』 濱田美里／著 アリス館		
	■『くだものと木の実いっぱい絵本』 ほりかわりまこ／作 あるなる書房		

登録番号	Q3	調査年月	2011年9月
質問	稲ワラを使用したしめ縄や縁起物の作り方について		
回答	しめ縄、宝船、米俵など生活用品や縁起物の作り方が載っている本を収集しました。特に写真や絵を多用し子どもから高齢者まで使いやすい資料です。稲ワラを材料にした作品の作り方は、工作分野の資料だけでなく、民具の資料にも掲載があります。		
	参考資料：市内図書館で所蔵しています。		
	■『わら加工の絵本（つくってあそぼう 16）』みやざき きよし/へん みずかみ みのり/え 農山漁村文化協会		
	■『写真でわかるぼくらのイネづくり 4 料理とワラ加工』農文協/編 赤松 富仁/写真 農山漁村文化協会		
	■『わら細工をつくろう（はじまりのもの体験シリーズ②）』 宮内 正勝/監修 リブリオ出版		
	■『しめ飾り造形とその技法』鈴木 安一郎/著 安藤 健浩/著 誠文堂新光社		
	■『しめかざり』解放教育自主講座・小倉/編著 海鳥社		
	■『つくって楽しむわら工芸』瀧本 広子/編 大浦 佳代/取材・執筆 農山漁村文化協会		
	■『つくって楽しむわら工芸 2』瀧本 広子/編 大浦 佳代/取材・執筆 農山漁村文化協会		
	■『民具の作り方8 -しめ飾り-』民具製作技術保存会編集研究グループ/編 民具製作技術保存会		
■『民具の作り方11 -宝船-正月の飾り物』 民具製作技術保存会編集研究グループ/編 民具製作技術保存会			
■『しめかざり』森 須磨子/著 工作舎			

登録番号	Q4	調査年月	2012年8月
質問	牛乳パックで作るイスについて		
	<p>四角形の椅子・六角形の椅子・背もたれ付きの椅子、ソファの4種類の作り方があります。いずれも用途は踏み台・子供用です。  四角形の椅子の作り方は①～⑥、⑨～⑪の本に掲載されています。  六角形の椅子の作り方は①・③・④・⑥・⑦・⑨～⑪の本に掲載されています。  背もたれ付きの椅子の作り方は①・④～⑥・⑧・⑪の本に掲載されています。  ソファの作り方は④の本に掲載されています。  使用する牛乳パックの数は18-39個で、作り方は大きく2種類に分かれます。  牛乳パックを切り開かずにそのまま使用方法と、切り開いて三角形にした牛乳パックを使う方法です。</p> <p>参考資料：市内図書館で所蔵しています</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■①『おしゃれな牛乳パック&amp;空き箱クラフト』寺西恵理子／著 PHP研究所</li> <li>■②『牛乳パックでリサイクル140てん』ブティック社</li> <li>■③『驚きのリメイク雑貨 アイデアと工夫と』寺西恵理子／著 河出書房新社</li> <li>■④『かわいい「リメイク・エコ雑貨」』寺西恵理子／著 PHP研究所</li> <li>■⑤『0・1・2歳のあそびと環境』寺西恵理子／著 フレーベル館</li> <li>■⑥『牛乳パックでつくる便利なおうちこもの』ブティック社</li> <li>■⑦『牛乳パックで作るかわいい便利こもの』ブティック社</li> <li>■⑧『牛乳パックで作る便利でかわいい収納こもの』ブティック社</li> <li>■⑨『牛乳パックでつくるおしゃれなおうち小物』ブティック社</li> <li>■⑩『はじめてでもかんたん！エコなリメイク2牛乳パック』寺西恵理子／著 汐文社</li> <li>■⑪『身近なもので作るハンドメイドレク』寺西恵理子／著 朝日新聞出版</li> </ul>		

登録番号	Q5	調査年月	2012年8月
質問	唱歌『のばら』について（歌詞が同じだが曲が違うものがあることについて）		
	<p>『野ばらの来た道』 p.18によると、「『のばら』はゲーテが作詞した詩であり、それに様々な作曲家が曲をつけたため歌詞（原詩）が同じで曲が違うものがある」とあります。</p> <p>『クラシック音楽作品名辞典』にはゲーテ作詞の『野ばら』の作曲者が5人いる【ウェルナー・シューベルト・シューマン・ハウプトマン・ライヒャルト】との記載があります。</p> <p>その曲数は『楽譜「野ばら」91曲集』の序文によると、121曲存在するとのこと。</p> <p>日本で有名な唱歌は、『野ばらの来た道』 p.24-25によると『野ばら』の訳詞者である近藤朔風のもので、ウェルナーとシューベルトの曲で使われています。ウェルナー曲の訳詞「わらべは見たり、野なかのばら…」の方が広く使用されているとあります。</p> <p>その他、『日本語と原語で歌う世界の名歌』 p.162に訳詞ではなく、「作詞」された「勝 承夫／作詞、ウェルナー／作曲」の『野ばら』が掲載されています。</p>		
	参考資料：①、③は滋賀県立図書館所蔵 ②、④は市内図書館で所蔵しています		
	■①『野ばらの来た道』坂西八郎／著 響文社（滋賀県立図書館所蔵）		
	■②『クラシック音楽作品名辞典』井上和男／編著 三省堂		
	■③『楽譜「野ばら」91曲集』坂西八郎／編 岩崎美術社（滋賀県立図書館所蔵）		
	■④『日本語と原語で歌う世界の名歌』野ばら社		

登録番号	Q6	調査年月	2022年2月
質問	アルファベットの筆記体の書き方について		
	<p>①と②には大文字・小文字、一文字ずつの書き方が書き順とともに掲載されています。</p> <p>③と④には文字と文字の繋ぎ方が掲載されています。この2冊にも大文字・小文字の書き方は載っていますが、カリグラフィーのため、ボールペンで書く際には必要のない線の太さなどの説明が入っています。</p> <p>2020年（令和2）発行の中学校1年生の英語の教科書（例として⑤の教科書）巻末にも、「英語の書体」として筆記体の一覧表がありますが、書き順は掲載されていません。</p> <p>⑥によれば、学校での筆記体の指導については、1958年（昭和33）10月公示の中学校学習指導要領から指導するよう明示されてきましたが、2002年（平成14）の中学校学習指導要領の改訂により、筆記体の大文字及び小文字は指導しなくてもよいことになっています。</p>		
	参考資料：市内図書館で所蔵しています		
	■①『ローマ字学』稲葉茂勝／著、倉島節尚／監修 今人舎		
	■②『世界の文字の書き方・書道 1』稲葉茂勝／著、こどもくらぶ／編 彩流社		
	■③『もっと知りたいカリグラフィー』ディヴィッド・ハリス／著、弓狩直子／訳 雄鶏社		
	■④『大人かわいい手帳&ノートの書き方』島野真希／監修 世界文化社		
	■⑤『SUNSHINE ENGLISH COURSE 1』 開隆堂出版		
	■⑥『中学校移行措置読本』徳久治彦／編著 教育開発研究所		

登録番号	Q7	調査年月	2012年8月
質問	閻魔（えんま）大王の像・絵画などについて		
	<p>『残酷絵で読み解く地獄の真実』p.50に地獄の裁判（土佐光信画「十王図」）が掲載されており、閻魔大王が描かれています。</p> <p>『てくてく地獄さんぽガイド』p.88にも同様の土佐光信画「十王図」が掲載されています。p.122-131には日本各地に鎮座する閻魔大王の彫像の写真が掲載されています。また閻魔大王のルーツと日本の仏教思想の中でイメージが変遷していった経緯について、図像と共に詳細が掲載されています。</p> <p>『輪廻転生』p.110には、閻魔王宮内に描かれた姿が載っています。</p> <p>『地獄絵大全』p.12には「十王地獄図」、p.78-85「立山曼荼羅」（立山信仰を今に伝える掛軸式絵画）、p.89「熊野観心十界曼荼羅」、p.107「閻魔図」、p.109「閻魔大王八大地獄図」、p.112「地獄曼荼羅」等に山岳信仰、説話や物語で伝承された地獄観と共に閻魔大王の姿が描かれています。</p>		
	参考資料：市内図書館で所蔵しています		
	■ 『残酷絵で読み解く地獄の真実』 村越英裕／著 宝島社		
	■ 『てくてく地獄さんぽガイド』 田村正彦／編著 グラフィック社		
	■ 『輪廻転生』 平凡社		
	■ 『地獄絵大全』 洋泉社		



登録番号	Q8	調査年月	2022年1月
質問	衛生的な正しい手洗いの方法について		
	<p>『看護技術ベーシックス』 p.27-28、『院内感染予防必携ハンドブック』 p.74～77に図と手洗いの説明が掲載されています。また手洗いの際の洗い残し部分が掲載されています。</p> <p>『いざというとき使えるために備えのものトリセツ図鑑1』 p.14-19と『保健委員会といっしょに今日からできる予防のてびき2』表紙裏には子ども向けの手洗いの図が掲載されています。またこの2冊にはなぜ手洗いをする必要があるのか記載があります。</p>		
	参考資料：市内図書館で所蔵しています		
	■『看護技術ベーシックス』藤野彩子、長谷部佳子、間瀬由紀／編著 サイオ出版		
	■『院内感染予防必携ハンドブック』洪愛子／編集 中央法規出版		
	■『いざというとき使えるために備えのものトリセツ図鑑1』教育画劇		
	■『保健委員会といっしょに今日からできる予防のてびき2』齋藤久美／監修 文研出版		

登録番号	Q9	調査年月	2022年2月
質問	「おおきなかぶ」の劇を上演する際の脚本や演出について		
	<p>『小学校たのしい劇の本 低学年』p.186には「大きなかぶ」（英語の入った劇）が紹介されています。劇の脚本、演劇を行う上での演技や小道具の工夫をまとめた演出ノートも記載されています。</p> <p>『おはなしのパペット2』には、脚本と一緒に場面ごとに写真と絵が紹介されています。登場人物の容姿、製作方法も記載されており、演劇にも応用が利きそうです。</p> <p>劇にお面を使うなら参考になる本は、『中谷真弓のエプロンシアター！2』や『笑顔がいっぱいパネルシアターであそぼ』があります。演劇とは異なりますが、登場人物の作り方の型紙がありお面作成の参考になります。</p> <p>*エプロンシアター：舞台にみだたエプロンのポケットから人形などを出したり付けたりしながら物語を展開する人形劇  *パネルシアター：パネル布をはった舞台に絵や文字などを貼って展開するおはなし・歌あそび・ゲーム</p> <p>参考資料：市内図書館で所蔵しています</p> <p>■『小学校たのしい劇の本 低学年』 日本演劇教育連盟／編 国土舎</p> <p>■『おはなしのパペット 2』 星野サエ／さく 錦木昌弥／え 星の環会</p> <p>■『中谷真弓のエプロンシアター！ 2』 中谷真弓／著 チャイルド本社</p> <p>■『笑顔がいっぱいパネルシアターであそぼ』 関稚子／著 大東出版社</p>		

登録番号	Q10	調査年月	2021年6月
質問	かかしの作り方について		
	<p>かかしを作る方法について、以下の資料が参考になります。①p.159、②p.118-119、③p.84-85、④p.36-37  滋賀県立琵琶湖博物館の体験プログラムとしてかかし作りを実施した様子が ⑤p.6-7 に紹介されています。  全国のかかし祭りや歴史も含め伝統文化としての考察などが詳しく書かれた⑥や、子ども向けに科学的な根拠を踏まえたかかしを作る考え方にも触れている⑦（p.192、p.210、p.218）もあります。</p> <p>さらに…滋賀県立琵琶湖博物館ホームページには、滋賀県内の調査結果としてかかしの骨組み、中身、顔や身に着けているものの材料に関する資料があります。地域の方がフィールドレポーターとしてまとめたものです。  『1998年第2回フィールドレポーター「ホテル調査／案山子調査」』  <a href="https://www.biwahaku.jp/1998/10/1998_2.html">https://www.biwahaku.jp/1998/10/1998_2.html</a>  『1999年第3回フィールドレポーター「案山子調査／お雑煮調査」』  <a href="https://www.biwahaku.jp/1999/12/1999_3.html">https://www.biwahaku.jp/1999/12/1999_3.html</a></p> <p>参考資料：市内図書館で所蔵しています</p> <p>■①『カカシバイブル』ピート小林／著 東京書籍</p> <p>■②『田んぼの教室』稲垣栄洋、栗山由佳子、松下明弘／著 家の光協会</p> <p>■③『田んぼが学校になった』佐伯剛正／著 岩波書店</p> <p>■④『お米なんでも大百科4 学校でお米をつくろう!』ポプラ社</p> <p>■⑤『みんなで出かけよう!わたしたちの社会科見学5 かかしづくりに挑戦しよう』コンパスワーク／編・著 偕成社</p> <p>■⑥『呵呵誌 案山子百科全集』佐藤信二／編 佐藤信二／発行</p> <p>■⑦『眠りと夢 少年少女科学名著全集22 かかしの研究』宮城音弥、中村浩／著 国土社</p>		

登録番号	Q11	調査年月	2011年5月
質問	鳥のフンはなぜ白いのかについて		
	<p>『うんちとおしっこの100不思議』 p.194によるとハトの場合、白いクリーム状のフンは尿酸で尿の成分に近いとあり、本来のフンはこの白い尿酸に付着している暗緑色の部分であると記載されています。</p> <p>『鳥の雑学事典』 p.53によれば白いのは尿酸のかたまりとあります。</p> <p>『鳥のおもしろ行動学』 p.34によれば鳥の尿には尿酸とりん酸が含まれており、強い漂白力があると記しています。</p> <p>『ペットバード百科』 p.21によれば、「鳥の尿はおもに尿酸のかたちをとっています。尿酸とは鳥のフンについている白色の成分で、尿素のかたちをとるほ乳類とは異なります…」とあります。</p> <p>尿酸の色については『化学大辞典』 p.1704には「水に微溶の細かい白色結晶。鳥類や爬虫類の排出物中に多く含まれる」と記載されています。</p>		
	参考資料：市内図書館で所蔵しています		
	■『うんちとおしっこの100不思議』 左巻健男／監修 山本文彦・貝沼関志／編著 東京書籍		
	■『鳥の雑学事典』 山階鳥類研究所／著 日本実業出版社		
	■『鳥のおもしろ行動学』 柴田敏隆／著 ナツメ社		
	■『ペットバード百科』 デビッド・アルダートン／著 誠文堂新光社		
	■『化学大辞典』 東京化学同人		